

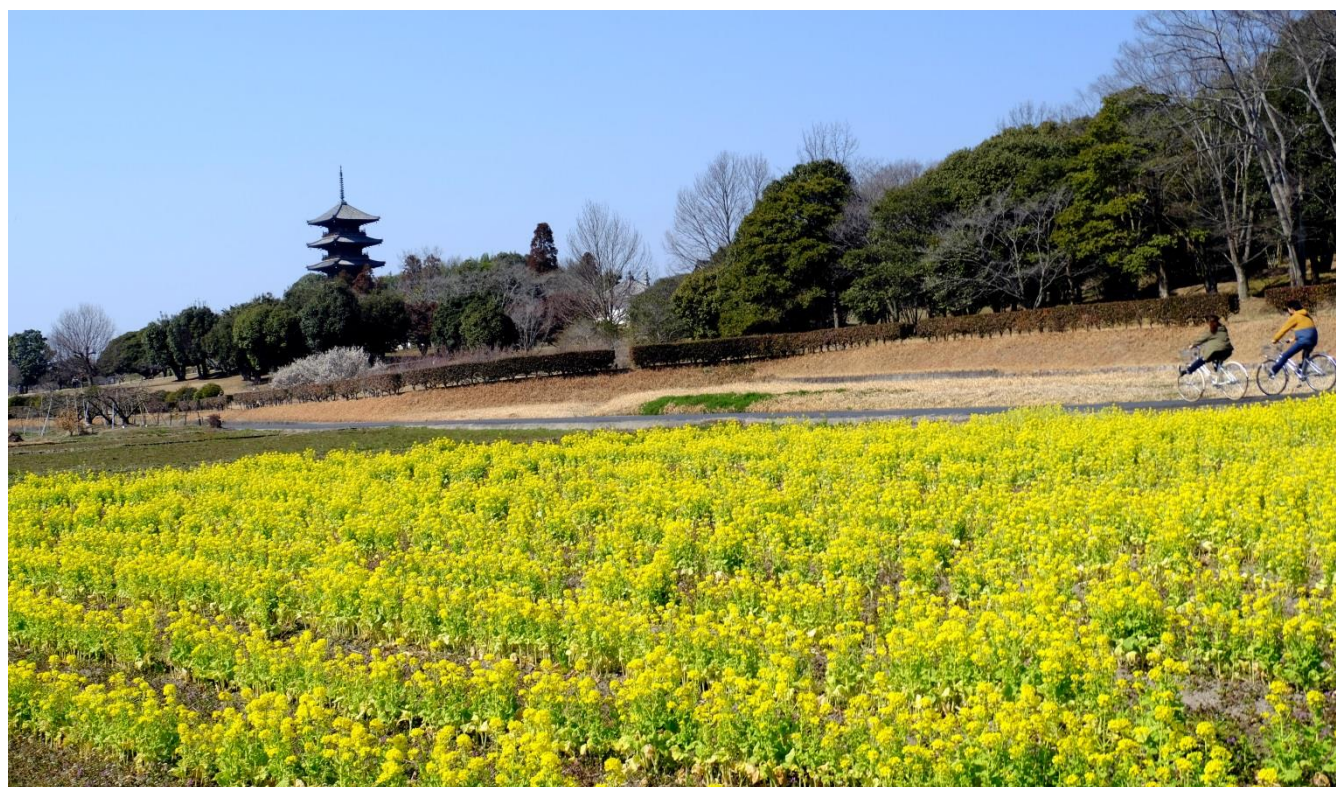
津山中央病院 連携広報誌

2022 年

3 月号

メディネット

Vol.221



菜の花と五重塔（総社市）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

脳血管疾患(外科系)

『 脊椎・脊髄治療 』

脳血管疾患(外科系) 『 脊椎・脊髄治療 』

津山中央病院 脳神経外科 医長

守本 純

専門領域

・脳神経外科

専門医・指導医

・日本脳神経外科学会専門医

・日本脊髄外科学会認定医



脳神経外科では脳と神経を扱う外科として、脊椎脊髄の治療も行っております。頰椎症性脊髄症や腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、椎体骨折など様々な脊椎脊髄領域の疾患を扱います。

いわゆる「せぼね」である脊椎の治療は神経と直接関連しないように思われますが、脊椎には神経を保護する役割もあり、骨折や変性などで脊椎が損傷した場合は神経損傷を予防するために脊椎の固定や除圧も行っております。

この脊椎の骨折の中でも頻度が高いのが、一般的に「圧迫骨折」と呼ばれる骨粗鬆症性椎体骨折です。基本的には安静と鎮痛剤を用いての対症療法となりますが、高齢者の長期臥床は筋肉量の低下や骨密度の低下のみならず、循環血液量の低下、最大酸素摂取量の低下など様々な弊害を伴います。近年とくに高齢者に関しては、骨折による疼痛が強くなりハビリテーションが進まない例に対しては早期手術の有用性が多数報告されております。

当院においても骨粗鬆症性椎体骨折に対して、バルーンを用いた経皮的椎体形成術（Balloon Kyphoplasty: BKP）を行っております（図1）。全身麻酔が必要ではありますが、数ミリの切開で施術でき、麻酔も含めて1-2時間の手術で翌日には疼痛が大幅に改善し、積極的なリハビリテーションが行えます。

しかしながら手術のみでは治療は完結せず、原因となる骨粗鬆症に対しても術前にDEXA法を用いて腰椎・大腿骨近位部で骨密度を測定し、周術期から骨粗鬆症に対しても治療を行っていきます。

BKP の問題点としては術後に隣接椎体骨折が懸念されますが、早期に骨粗鬆症に対して介入することと、正しいコルセット装用指導を行うことで、術後の合併症もなるべく避けることができると考えております。

外傷による腰痛の患者様が受診されましたら可能な限り即日 MRI・レントゲンを用いた確定診断を行い（図 2）、治療法については骨折の状態や、全身状態・患者様の希望も考慮して説明させていただきます。

我々脳神経外科では脊椎の外傷に対して的確な診断と、個々の患者様に合った治療法を提案していきます。



図 1：第 1 腰椎に対する BKP 治療後のレントゲン写真



図 2：MRI を用いた椎体骨折の診断（左：T2 脂肪抑制像、右：T1 強調像）

～守本医師 診療日のご案内～

	月	火	水	木	金
午前 (予約のみ)	—	守本	—	—	守本

セミナー・講演会情報

●CC セミナー（Web 併用のハイブリッド形式）

講演 『 緩和放射線治療 』

- ・講師 放射線科 尾形 毅 先生
- ・日時 2022 年 3 月 8 日（火）19：00～20：00
- ・場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

地域連携室からのお願い

～紹介元医療機関からの予約について～

- ◆紹介予約は原則お電話ではなく、『紹介予約申込FAX用紙』をご記入の上、**FAX**にてお送りください。
- ◆『紹介予約申込FAX用紙』は**FAX 前**にチェック項目に漏れがないかを今一度ご確認いただきますようお願いいたします。
- ◆来院当日は紹介状とお薬手帳をご持参いただきますようお願いいたします。

オンライン面会サービスのご案内



オンライン面会はじめました。

遠くの家族、小さなお子さん。
オンラインだからできる面会があります。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、入院患者さんへの面会は原則禁止させていただいております。患者さんやご家族の皆様にはご不便をおかけしておりますが、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

当院では、直接会えないけれど、一目でも顔を見たいという患者さん・ご家族のご要望を何とか叶えたいと考え、オンライン面会サービスを実施しております。

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

http://www.tch.or.jp/online_menkai.html

